

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【全体】	総括	1	—	全施策を通して、課題、ビジョン、施策の展開の記述を充実してはどうか。	御意見を踏まえ、戦略プラン全体の記述内容を充実します。 また、施策の規模などを踏まえ、施策の展開を追加等します。 (記述内容については、別紙「中間答申(案) 戦略プラン」を参照願います。)
		2	—	課題、ビジョン、施策の展開における「●」の数を一致させ、わかりやすく記載してはどうか。	御意見を踏まえ、課題、ビジョン、施策の展開の「●」の数を、原則、一致するよう記述します。 (記述内容については、別紙「中間答申(案) 戦略プラン」を参照願います。)
		3	—	課題に現状認識としての数的根拠を記載し、目指すゴール、ビジョンが実現可能なものであることを見えるようにしてはどうか。	御意見を踏まえ、課題の内容に応じて、現状認識としての数的根拠を記載します。 (記述内容については、別紙「中間答申(案) 戦略プラン」を参照願います。)
		4	—	戦略プランの各施策とSDGsの関係について、より幅広い視点で関連付けてはどうか。	御意見を踏まえ、戦略プランにおけるSDGsの関連付けを再整理します。 (記述内容については、別紙「中間答申(案) 戦略プラン」を参照願います。)
		5	—	各施策において、関連する他の施策を表示してはどうか。	第六次総合計画においては、関連する事業の連携をより強化するために、第五次総合計画と比べて施策の集約・統合をさせていただいておりますことから、ご意見の趣旨である「関連し合う施策をわかりやすくする」ことについては、既に反映しているものと考えられます。また、関連性の範囲(直接関連するもの、波及的に関連するものなど)に曖昧さがあることも、簡潔・明瞭な計画策定の観点から課題と考えます。 以上を踏まえ、原案のとおりとします。

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策1】  安心して子どもを産み、育てる環境づくり	全般	6	—	①と②の順番を逆にすべきではないか。課題の表示の銃として、「妊婦・出産」が始めにきて、「子育て」というライフサイクルの流れに合わせて記載してはどうか。	御意見を踏まえ、①と②の順序を入れ替えます。
	課題	7	<課題①> ●発達障害などの障害範囲の拡大や小児医療の進歩による救命率の向上等により、多様な支援が必要な子育て家庭の増加が懸念されています。	「障害範囲の拡大」が、障害者数の拡大なのか、漠然的なイメージの拡大なのかが分かりにくいので、文言の再考が必要ではないか。  「小児医療の進歩による救命率の向上等」が課題となるのか。	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <課題③> ●発達障害のある子どもや小児医療の進歩による救命率の向上に伴う医療的ケアを要する子どもの増加など、多様な支援が必要な子育て家庭の増加が懸念されています。
	施策の展開	8	<施策の展開②> ●妊娠早期から活用可能な支援施策の啓発・利用促進により、母子の心身の健康保持と子育ての負担や不安、孤立感の軽減を図るとともに、保健師・助産師等の専門職による支援を実施するなど、子どもと母親の健康づくりを推進します。	「妊娠早期から活用可能な支援施策」という文言が分かりにくいので、文言の再考が必要ではないか。	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <施策の展開①> ●妊娠早期から、それぞれの時期に応じた支援施策の情報提供を行い、利用を促進することにより、母子の心身の健康保持と子育ての負担や不安、孤立感の軽減を図るとともに、保健師・助産師等の専門職による支援を実施するなど、子どもと母親の健康づくりを推進します。
	関連する個別計画	9	●第2期子ども・子育て支援事業計画 ●第2期障害児福祉計画 ●教育大綱 ●教育大綱実施計画 ●社会教育推進計画	「関連する個別計画」に第三次地域福祉計画を記載してはどうか。	「第2期子ども・子育て支援事業計画」は、「寝屋川市地域福祉計画」と連携して策定していますが、複数の施策に関連する個別計画（『地域福祉計画』や『公共施設管理計画』等）については、主たる施策に掲載することとしているため、原案のとおりとします。
	行政が市民等に期待する役割	10	(個人) 市民 ●妊産婦・乳幼児健康診査の受診 ●子育てについての家族との話し合い、悩みを共有できる仲間づくり、関係機関の利用 ●子育てリフレッシュ館等の子育て支援施設の利用や子育てサロン等の活動への参加を通じた子育てに関する情報の共有	(個人) 市民の欄に、父親の役割を記載してはどうか。	御意見を踏まえ、次の項目を追加します。  (個人) 市民 ●妊産婦・乳幼児健康診査の受診 ●子育てについての家族との話し合い、悩みを共有できる仲間づくり、関係機関の利用 ●子育てリフレッシュ館等の子育て支援施設の利用や子育てサロン等の活動への参加を通じた子育てに関する情報の共有 ●父親としての妊娠・出産への理解と家事・育児への積極的な参加

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策2】  寝屋川市だ から学べる 「寝屋川教 育」	課題	11	<p>&lt;課題①&gt; ●少子化等による児童・生徒数の減少により<u>小規模校が増加しています。</u></p>	<p>「小規模校が増加している」との課題を記載しているが、中規模校、大規模校などその他の規模もある。記述を足す必要があるのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題①&gt; ●本市の年少人口は、令和元年と比べて令和12年には約23%減少する見通しであり、少子化等による児童・生徒数の減少により、小規模校が増加するなど学校規模の適正化を図る必要性が高まっています。</p>
	ビジョン	12	<p>&lt;ビジョン②&gt; ●自らの人生を切り拓き、それぞれの夢に向かって豊かに、たくましく生き抜いていくための「考える力」が育まれ、学力や体力が向上しています。</p>	<p>ビジョン②では「考える力」を育む、施策の展開②では「生き抜く力」を育むとあり、整合性をとる必要があるのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン②&gt; ●自らの人生を切り拓き、それぞれの夢に向かって豊かに生きるために必要な「考える力」が身に付くことで、学力や体力が向上し、「生き抜く力」が育まれています。</p>
		13	<p>&lt;ビジョン③&gt; ●経年劣化対策を講じるとともに、学校園施設の長寿命化対策等施設整備を計画的に進め、児童・生徒の安全性の確保及び安全・安心な学校給食の提供が適正に行われています。</p>	<p>「安全・安心な学校給食の提供が適正に行われています。」の記述について、現状は適正に行われていないというように見える。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン③&gt; ●経年劣化対策を講じるとともに、学校園施設の長寿命化対策等施設整備が計画的に進み、児童・生徒の安全性が確保されています。 また、引き続き安全・安心な学校給食の提供が行われています。</p>
	施策の展開	14	<p>&lt;施策の展開②&gt; ●ディベート教育や道徳教育等を通じ、コミュニケーション力、他人を思いやる心、豊かな人間性の醸成を図り、「考える力」を育みます。また、「考える力」をベースに、学力や体力を確実に身に付けさせることにより、「生き抜く力」を育みます。</p>	<p>課題②に「急速な技術革新やグローバル化」とあるが、施策の展開にA I、I C Tについての記述を入れる必要があるのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開②&gt; ●ディベート教育や道徳教育等を通じ、<u>情報活用力</u>、コミュニケーション力、他人を思いやる心、豊かな人間性の醸成を図り、「考える力」を育みます。また、「考える力」をベースに、学力や体力を確実に身に付けさせることにより、「生き抜く力」を育みます。</p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策3】  子どもを全力で守り抜く	ビジョン	15	<p>&lt;ビジョン①&gt;  <u>●市独自のいじめ対策によって、子どもたちや保護者等のいじめに対する意識が高まるとともに、いじめの未然防止が図られ、いじめゼロの状態が継続しています。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめゼロ」は現実的ではないため、段階的に「目指していく」という表現に変更してはどうか。</li> <li>・施策目標「いじめ事案への行政的アプローチによる平均対応日数」の令和9年度の目標値が「0日」でないと、&lt;ビジョン&gt;①の「いじめゼロ」と整合が取れないのではないかと。</li> </ul>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン①&gt;  <u>●市独自のいじめ対策によって、子どもたちや保護者等のいじめに対する意識が高まるとともに、いじめの未然防止・早期解決を図ることで、段階的にいじめ事案が減少し、子どもたちが安全・安心に過ごせる環境づくりが進んでいます。</u></p>
	施策の展開	16	<p>&lt;施策の展開③&gt;  <u>●家庭教育サポートチーム事業等による家庭教育支援の強化及び「青少年の居場所」事業の拡充を図り、教育と福祉の連携強化を推進するとともに、学校・家庭・地域と協働した取組を充実し、全ての子どもたちが健やかに育つことができる環境づくりを推進します。</u></p>	<p>「『青少年の居場所』事業の拡充を図り、教育と福祉の連携強化を推進する」と「学校・家庭・地域と協働した取組を充実し」を2項目に分けて記載した方がよいのではないかと。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開③&gt;  <u>●子育てやしつけに、悩みや不安を抱く家庭を総合的に支援するため、家庭教育サポートチーム事業等による家庭教育支援の強化や学校・家庭・地域の協働の取組を充実します。また、「青少年の居場所」事業を拡充するなど、教育と福祉の連携強化を推進し、全ての子どもたちが健やかに育つことができる環境づくりを推進します。</u></p>
	行政が市民等に期待する役割	17	<p>(個人) 市民  <u>●保護者としての役割や責任を意識した子育ての実践</u>  <u>●地域の一員として見守り活動など地域活動への積極的な参加</u></p>	<p>大人のいじめが子どものいじめにつながっていくこともあるため、表現を検討した上で、大人のいじめについても記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>(個人) 市民  <u>●保護者としての役割や責任を意識した子育ての実践</u>  <u>●大人の振る舞いが子どもに影響を与える可能性があることを踏まえた、他人の人格を尊重する態度・行動</u>  <u>●地域の一員として見守り活動など地域活動への積極的な参加</u></p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン【施策4】 ポテンシャルをフル活用した都市基盤整備	課題	18	<p>&lt;課題②&gt; ●狭あい道路が多い地区では、緊急車両の通行が困難であるとともに、<u>沿道の開発が進んでいません。</u></p>	私道に係る課題について記載してはどうか。	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題④&gt; ●狭あい道路が多い<u>地域</u>では、<u>沿道の開発が進んでおらず、緊急車両の通行が困難であるとともに、私道を含む生活道路の整備改善が進んでいないことが課題となっています。</u></p>
	施策の展開	19	<p>&lt;施策の展開①&gt; ●京阪沿線及びJR学研都市線沿線が互いに成長し、市域全体が継続的に発展することを目的とする「2軸化構想」の実現化策を推進するとともに、<u>京阪本線連続立体交差事業・寝屋川公園駅周辺のまちづくりを推進し、2つの鉄道軸の相互成長を図ります。</u></p>	立地適正化計画の内容を踏まえた記述を追記してはどうか。	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt; ●京阪沿線<u>エリア</u>及びJR学研都市線沿線<u>エリア</u>が互いに成長し、市域全体が継続的に発展することを目的とする「2軸化構想」の実現化策を推進するとともに、<u>都市格向上による持続可能な住みよいまちの実現に向けて、市内各駅を中心拠点や生活拠点に都市機能の立地を誘導し、まちの魅力を高め、子育て世代の定住・流入の促進を図ります。</u></p>
		20	<p>&lt;施策の展開②&gt; ●<u>空き家の利活用・除却に取り組むとともに、土地の流動化を促すため、地籍調査を実施し、狭あい道路の拡幅整備を行うなど、魅力的で誇らしい“住むまち”の形成を図ります。</u></p>	課題とビジョンの項目数に比べて、施策の展開の項目が少ない。バランスを合わせてはどうか。	<p>御意見を踏まえ、施策の展開を次のとおり分割し、それぞれに内容を追記します。</p> <p>&lt;施策の展開②&gt; ●<u>活用可能な空き家について、市場への流通を促進させ、使用目的のない空き家の増加を抑制させるとともに、空き家所有者に対して適正管理の啓発による危険空き家の解消に努めることで、住環境の保全、地域の活性化を図ります。</u></p> <p>&lt;施策の展開③&gt; ●<u>地籍調査を都市計画道路等の事業やまちづくりに併せて行うとともに、地域協働協議会等からの要望に基づき、定住促進につながるよう順次実施します。</u></p> <p>&lt;施策の展開④&gt; ●<u>地域と協働し、狭あい道路の拡幅整備や私道を含む生活道路等の整備を行うなど、生活道路の環境改善を図ります。</u></p>
		21	<p>&lt;施策の展開③&gt; ●<u>未整備の都市計画道路の事業認可を取得し、早期事業化により安全性の確保とアクセス性の向上、緊急車両の通行帯の確保を図ります。</u></p>	具体的な事業名や事業内容がわかる記述としてはどうか。	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開⑤&gt; ●<u>都市計画道路対馬江大利線について、交通の利便性と安全性の向上、災害時における延焼遮断帯としての整備を進めます。また、未整備の都市計画道路の早期事業化により、安全性の確保とアクセス性の向上、緊急車両の通行帯の確保を図ります。</u></p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策5】  将来を見据えた公共施設の集約・複合化	ビジョン	22	<p>&lt;ビジョン①&gt;            ●多様な主体による公共交通サービスが維持・充実され、施設の広域利用が可能となる中で、施設の集約・複合化が進んでいます。</p> <p>●本格的な高齢社会及び高度な情報社会に対応するため、駅等の要所への行政機能の集約化が進み、市民の利便性が向上しています。また、駅等に集約化した公共施設が起点となり、地域活性化、市民活動の活発化に大きく貢献しています。</p> <p>●ICTを活用したオンラインサービスなど行政サービスの高度化・簡素化が進み、施設規模の縮小及び職員の効率配置が可能な状況となっています。</p>	<p>課題、ビジョンの数と施策の展開の数の整合を図ってはどうか。</p> <p>公共施設の最適配置に関して、コミセンを含め、駅に集約するもの、集約的でないもの（地域施設で根付いている公共施設）を分けて記述してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン①&gt;            ●多様な主体による公共交通サービスが維持・充実され、施設の広域利用が可能となる中で、施設の集約・複合化が進んでいます。</p> <p>●本格的な高齢社会及び高度な情報社会に対応するため、駅等の要所への行政機能の集約化が進むとともに、ICTを活用したオンラインサービスなど行政サービスの高度化・簡素化の実現により、施設規模の縮小及び職員の効率配置が可能となっています。</p> <p>●地域に立地しているからこそ地域住民の利便性が高まる施設については、機能の充実・強化、適切な改修が進められているとともに、地域内での最適配置が行われており、地域の活性化、市民活動の活発化の拠点となっています。</p>
	施策の展開	23	<p>&lt;施策の展開①&gt;            ●複数の機能・用途の集約化を検討し、公共施設等の総量抑制、最適配置を図るとともに、将来の市民サービスの在り方等を見据え、駅周辺に市民が必要とする行政機能を集約するなど、市民サービスのターミナル化を進めることで市民の利便性の向上を図ります。</p>		<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt;            ●各公共施設の立地場所及び機能・用途を検証し、市民ニーズや施設の利用状況等を考慮した上で、集約・複合化も含め公共施設全体の総量抑制、最適配置を図ります。</p> <p>●将来の市民サービスの在り方等を見据え、駅周辺に市民が必要とする行政機能を集約する市民サービスのターミナル化を進めるとともに、ICTを活用した行政サービスのデジタル化を進め、対面ではなくオンラインでのサービス提供を可能とすることで市民の利便性向上を図ります。</p> <p>●市民サービスの利用者及び地域住民の視点から、駅周辺に集約することが望ましい行政機能と地域にあるべき機能を有する施設の区分を行い、地域に立地することで地域住民の利便性が高まる施設については、地域の活性化、市民活動の拠点となるよう機能の充実・強化を進めるとともに、集約・複合化も含めた地域内での施設の最適配置を行うことで利用率・稼働率の向上を図ります。</p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策6】  働く場の創出と多様な人材の育成・確保	課題	24	<p>&lt;課題②&gt; ●働き方改革等を背景に、労働環境として職住近接の動きが進む中、<u>子育て世代を含む労働人口が市外へ流出することで、担税力のある若い労働人口の確保が課題となっています。</u></p>	「担税力のある」部分の記載は必要ないのではないか。	御意見を踏まえ、当該文言を削除の上、次のとおり修正します。  <課題②> ●本市の生産年齢人口は、令和元年度では136,268人と、平成21年度の158,126人から約14%減少しており、今後、働き方改革等を背景に、労働環境として職住近接の動きが進む中、 <u>市内経済を支える労働人口の更なる市外への流出が懸念されています。</u>
		25	<p>&lt;課題③&gt; ●求職者の就労に係る多様な条件や意欲と、企業の求人とのマッチングが円滑でなく、雇用機会の損失による労働力の市外流出や慢性的な人手不足が懸念されています。</p>	「企業の求人とのマッチングが円滑でなく」とはどのような意味か。	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <課題③> ●求職者の就労に係る多様な条件や意欲と、企業の求人とがうまく結びつかず、雇用機会の損失による労働力の市外流出や慢性的な人手不足が懸念されています。
	ビジョン	26	<p>&lt;ビジョン①&gt; ●市、商工農業者、関係機関等が共通する目的や課題に対し、<u>各々の強みを活かし、必要に応じて可変的に連携する</u>など、新たな事業や雇用等を創出する環境が整っています。</p>	「各々の強み」とはどのような意味か。商工農の交流等ということであれば、そのことを記載してはどうか。	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <ビジョン①> ●市、商工農業者、関係機関等が共通する目的や課題に対し、 <u>各分野におけるそれぞれの知識や経験など、各々の強みを活かし、必要に応じて可変的に連携する</u> など、新たな事業や雇用等を創出する環境が整っています。
		27	<p>&lt;ビジョン②&gt; ●<u>市の地域ポテンシャルやまちづくりに呼応して、市外からの企業の流入等が進んでおり、担税力のある若い世代にとって魅力的な“職住近接”の環境が整っています。</u></p>	<p>・基本構想23ページに「女性、若者、高齢者等の雇用機会の拡充と人材育成を推進します」と記載されているが、戦略プランにも記載が必要ではないか。</p> <p>・「担税力のある」部分の記載は必要ないのではないか。</p>	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <ビジョン②> ● <u>まちづくりや地域ポテンシャルに呼応して、市外からの企業の流入等が進んでおり、女性、若者、高齢者等の様々な立場の方の雇用の機会が広がるとともに、住みたい・働きたいと感じてもらえる“職住近接”の環境が整っています。</u>
		28	<p>&lt;施策の展開②&gt; ●<u>関係機関等と連携し、地域ポテンシャルやまちづくりを活かした企業誘致等を進め、市内産業の活性化や雇用創出を図り、魅力ある“職住近接”の環境づくりを推進します。</u></p>	<p>・都市計画道路ができた際の沿線エリアをどうするのかなど「地域ポテンシャルやまちづくり」の記述を分かりやすくしてはどうか。</p> <p>・商工農はまちづくりに関わってくるものであり、波及性を意識した書きぶりにしてはどうか。</p>	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <施策の展開②> ● <u>2つの鉄道沿線を持つ交通利便性や大阪・京都都心へアクセスしやすい地理的優位性、さらには都市計画道路の整備や区画整理事業等のまちづくり事業の推進による地域ポテンシャルの高まり等を活かした企業誘致などを関係機関と連携して推進し、市内産業の活性化と雇用の創出を図ることで、魅力ある“職住近接”の環境づくりを進めます。</u>
	29	<p>&lt;施策の展開③&gt; ●求職者の世代や多様な就労条件等のニーズに対応するよう、ハローワーク等の関係機関と連携し、就労相談や面接会などの効果的な就労支援を行います。</p>	市内だけでは範囲が小さいため、北河内などエリアを広げた記述としてはどうか。	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <施策の展開③> ●求職者の世代や多様な就労条件等のニーズに対応するよう、ハローワークを始め、 <u>近隣自治体等の関係機関と連携し、就労相談や面接会などの効果的な就労支援を行います。</u>	

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策7】  災害から命を守るための対策	課題	30	<p>&lt;課題①&gt; ●高齢化や地域コミュニティの希薄化等により、地域防災力の低下が懸念されています。</p>	<p>・新型コロナウイルスに関する避難所の問題もあるため、「新型コロナウイルスを始めとする感染症と、豪雨や地震などの自然災害が重なる複合災害に対する新たな避難や避難所運営が課題となっています」「降雨や雷など災害気象環境により、防災無線等による災害情報や避難情報が全市民に確実に伝わっていない課題があります」などと記載してはどうか。</p> <p>・「地域防災力」という言葉の意味合いを説明する必要があるのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題①&gt; ●地震や豪雨による災害が同時に発生する複合災害や新種のウイルス感染症を想定した対策が課題となっています。</p> <p>●降雨や雷など災害気象環境により、防災行政無線等による災害情報や避難情報が全市民に伝わっていない課題があります。</p> <p>&lt;課題②&gt; ●高齢化や地域コミュニティの希薄化等により、消防団や地域住民を始めとする多様な主体が行う防災活動によって確保される地域防災力の低下が懸念されています。</p>
	ビジョン	31	<p>&lt;ビジョン②&gt; ●密集市街地の民間建築物の建て替え更新や耐震改修工事、道路整備により、まちの耐震化・不燃化が更に進み、地震や火災などの災害に強いまちになっています。</p>	<p>「密集市街地の民間建築物の建て替え更新や耐震改修工事、道路整備により」を「～延焼遮断効果の高い道路整備により」にしてはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン③&gt; ●密集市街地の民間建築物の建て替え更新や耐震改修工事、延焼遮断効果の高い道路整備により、まちの耐震化・不燃化が更に進み、地震や火災などの災害に強いまちになっています。</p>
		32	<p>&lt;ビジョン④&gt; ●公共や民間の団体、市民など多くの主体の事前の備えと連携強化による、ハード・ソフト一体となった“浸水に強いまちづくり”が進んでいます。</p>	<p>「～市民など多くの主体の事前の準備～」と「の」が3つ重なっているため、記述内容を整理してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン⑥&gt; ●公共や民間団体及び市民等を主体とした災害への事前の備えと連携強化による、ハード・ソフト一体となった“浸水に強いまちづくり”が進んでいます。</p>



区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策7】  災害から命を守るための対策	施策の展開	33	<p>&lt;施策の展開①&gt;</p> <p>●大規模災害などの危機事象に備え、危機管理体制の充実・強化を図るとともに、「地域防災計画」に基づく防災・減災対策を推進します。</p> <p>●防災用資機材の充実による防災力の強化を図るとともに、市民の防災意識の高揚や自主防災組織の更なる強化など、地域の自主的な防災活動を促進します。</p>	<p>・「大規模災害」という言葉の説明をする必要があるのではないか。</p> <p>・地区防災計画について、自治会、地域協で計画を立てることでコミュニティづくりにもつながるため、記載してはどうか。</p> <p>・消防団に加えて消防組合との連携を広げることを記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt;</p> <p>●<u>南海トラフ巨大地震、台風、豪雨など市域に甚大な被害をもたらす大規模災害や複合災害などの危機事象に備え、危機管理体制の充実・強化を図るとともに、「地域防災計画」に基づく防災・減災対策を推進します。</u></p> <p>●<u>複合災害や新種ウイルスの発生等に対応した新たな避難や避難所運営の体制を構築します。</u></p> <p>●<u>災害・避難情報が住民の方々に迅速かつ的確に周知できるように情報伝達の充実・強化を図ります。</u></p> <p>&lt;施策の展開②&gt;</p> <p>●<u>防災用資機材の充実による防災力の強化を図るとともに、消防団や枚方寝屋川消防組合と連携しながら、市民の防災意識の高揚や自主防災組織の更なる強化など、地域の自主的な防災活動を促進します。</u></p> <p>●<u>地域活動団体等が作成する「地区防災計画」の作成支援を行うとともに、地域防災力の向上に向け、協力・連携を図ります。</u></p>
		34	<p>&lt;施策の展開②&gt;</p> <p>●密集住宅地区における災害から命を守るための対策を推進します。また、官民連携して耐震フォーラム等を開催することと併せて、耐震補助制度の周知・啓発を継続して行うことで、市民意識の更なる向上を図り、倒れない・燃え広がらないまちづくりを進めます。</p>	<p>・燃え広がらないまちづくりに関する取組として、老朽木造の除却に関する内容を追記してはどうか。</p> <p>・住宅用火災警報器の設置率向上の取組などについて記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開③&gt;</p> <p>●<u>老朽建築物の除却や道路整備の実施など、密集住宅地区における災害から命を守るための対策を推進します。</u></p> <p>&lt;施策の展開④&gt;</p> <p>●<u>民間建築物の建て替えや官民連携して耐震フォーラム等を開催することと併せて、耐震補助制度に加え、枚方寝屋川消防組合が取り組んでいる住宅用火災報知器の設置などの周知・啓発を継続して行うことで、市民意識の更なる向上を図り、倒れない・燃え広がらないまちづくりを進めます。</u></p>
		35	<p>&lt;施策の展開④&gt;</p> <p>●民間開発や公共施設等を活用した雨水貯留施設の設置など、雨水対策を推進するとともに、寝屋川北部地下河川などの整備促進を図ります。また、浸水対策事業についての積極的な情報発信やタイムラインの検証・充実など、市民一人ひとりの行動につながる情報の周知を図ります。</p>	<p>「浸水対策事業についての積極的な」を「～確実な」に修正してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開⑥&gt;</p> <p>●<u>民間開発や公共施設等を活用した雨水貯留施設の設置や古川雨水幹線整備事業及び高宮ポンプ場整備事業など、雨水対策を推進するとともに、寝屋川北部地下河川などの整備促進を図ります。また、土のうステーションの活用や浸水対策事業の積極的なPRのほか、災害伝達情報についての確実な情報発信やタイムラインの検証・充実など、市民一人ひとりの行動につながる情報の周知を図ります。</u></p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策7】  災害から命を守るための対策	行政が市民等に期待する役割	36	<p>(個人) 市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●食料・飲料水その他生活必需物資の備蓄や防災訓練への参加</li> <li>●耐震に係る知識の習得、居住又は所有する建築物の耐震化</li> <li>●発災時における初期消火及び負傷者の救助</li> </ul> <p>地域・団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●防災訓練の実施</li> <li>●避難所の運営の協力</li> <li>●消防団員が地域の防災リーダーとして活躍</li> <li>●発災時における初期消火及び負傷者の救助</li> </ul>	<p>・地域・団体について、「防災団体等と連携した防災訓練の実施」を追記してはどうか。</p> <p>・(個人) 市民、地域・団体の役割として、安否確認に関して記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>(個人) 市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●食料・飲料水その他生活必需物資の備蓄や防災訓練への参加</li> <li>●耐震に係る知識の習得、居住又は所有する建築物の耐震化</li> <li>●発災時における初期消火、<u>近隣住民等の安否確認</u>及び負傷者の救助</li> </ul> <p>地域・団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>防災団体と連携した防災訓練の実施</u></li> <li>●避難所の運営の協力</li> <li>●消防団員が地域の防災リーダーとして活躍</li> <li>●発災時における初期消火、<u>避難行動要支援者の安否確認</u>及び負傷者の救助</li> </ul>
	施策指標	37	寝屋川流域水害対策計画における貯留施設設置率	「施策12」において、「水道事業の水道管路の工事や維持管理は「施策7」で記載し、「施策12」では水道水の安全性や水質の確保等について記述してはどうか」との意見があったため、「施策7」の指標を「水道管路の耐震化率」に変更するものです。	水道管路の耐震化率

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策8】  防犯力向上による体感治安の改善	施策の展開	38	<p>&lt;施策の展開①&gt;            ●専門家による市内四駅周辺を含めた犯罪多発地域の調査・研究など、防犯施策を進めるとともに、それらの取組の情報発信を行い、体感治安の向上を図ります。</p> <p>●地域の自主防犯活動が活性化されるよう支援するとともに、市独自の防犯活動を継続的に行うことにより、相互の活動効果を高め、犯罪抑止につなげます。</p> <p>●警察との連携を強化し、防犯教室など様々な場面を通じて、市民に対する啓発活動を行うことにより、特殊詐欺被害の防止を図ります。</p> <p>&lt;施策の展開②&gt;            ●幅広い世代の消費者に対し、消費生活に関する適切な情報を提供します。また、自立した消費行動がとれるよう正しい知識の啓発等を行うことにより、消費者被害の未然防止と消費者の自立を促進します。</p>	<p>・「犯罪が起こりにくいまちづくり」が重要であるため、「防犯施策を進めるとともに、」の後に、「防犯環境設計を取り入れたまちづくりを推進し、」と追記してはどうか。</p> <p>・10年後を見据えた場合、啓発活動以外の対策も考えられるため、「啓発活動」の後に「等」を入れてはどうか。</p> <p>・警察以外にも郵便局・銀行等との連携も考えられるため、幅広く記載してはどうか。</p> <p>・市が実施している施策・事業を具体的に記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt;            ●専門家による市内四駅周辺を含めた犯罪多発地域の調査・研究など、防犯施策を進めるとともに、<u>人的な防犯活動(ソフト面)と併せて、物理的な環境(ハード面)の整備、強化等を行い、犯罪抑止に向けた環境を形成する防犯環境設計を取り入れたまちづくりを推進し、それらの取組の情報発信を行い、体感治安の向上を図ります。</u></p> <p>&lt;施策の展開②&gt;            ●地域の自主防犯活動が活性化されるよう支援するとともに、<u>夜間の時間帯に青色防犯パトロールを実施するなど市独自の防犯活動を継続的に行うことにより、相互の活動効果を高め、犯罪抑止につなげます。</u></p> <p>&lt;施策の展開③&gt;            ●幅広い世代の消費者に対し、<u>警察等と連携しながら、特殊詐欺や悪質商法などの消費生活に関する啓発活動を強化するとともに、適切な助言等を行う相談業務の強化、自立した消費行動につながる正しい知識の啓発等を行うことにより、消費者被害の未然防止と消費者の自立を促進します。</u></p> <p>●警察・郵便局・銀行等との連携を強化し、市民に対する啓発活動等を行うことにより、特殊詐欺被害の防止を図ります。</p>
	施策指標	39	<p>【指標①】市内の刑法犯罪認知件数            【指標①】市内の特殊詐欺被害件数</p>	<p>施策名が「防犯力向上による体感治安の改善」であるため、施策指標を体感治安を測る指標にしてはどうか。</p>	<p>今後、体感治安を測るアンケートについて、専門家による調査・研究の一環として実施の検討を行うこととしていますが、令和元年度及び令和2年度の実績がなく、経年的な比較検証が困難であるため、原案の指標とします。</p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策9】  健康寿命の 延伸	全般	40	—	①～③の順番について、②⇒③⇒①に変えた方が分かりやすいのではないかと。	御意見を踏まえ、①～③の順序を入れ替えます。
	施策の展開	41	<p>&lt;施策の展開①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ドクターカーの運用時間を見直し、救命救急医療体制の拡充を図ります。</li> <li>●医療機関との連携を強化し休日診療所業務における小児救急体制を維持します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクターカーの運用時間だけでなく、ドクターカーの到着を待つ間に心肺蘇生をする人（バイスタンダー）の養成などの記載が必要ではないか。</li> <li>・医療機関との連携とは具体的にはどういったことか。他の団体との具体的な連携について記載してはどうか。</li> <li>・救急の小児搬送者について、管内の対応時間外は大阪市内の医療機関に搬送するケースが多いと聞いている。 市内の医療体制の整備だけではなく広域的な視点で考える必要があるのではないかと。</li> </ul>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開③&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ドクターカーの運用時間を見直し、救命救急医療体制の拡充を図るとともに、関係機関と連携し、北河内医療圏域における救急医療体制を確保します。また、救急の現場に居合わせた際に、適切な救命処置を実施できる市民を養成するため、応急手当、救急蘇生法等に関する講習会等を関係機関と連携して実施します。</li> <li>●市民にとって身近で利用しやすい救急医療を提供するため、医療機関との連携を強化し、市が運営する休日診療所を安定的に稼働させ、切れ目のない小児救急体制を維持します。</li> </ul>
		42	<p>&lt;施策の展開②&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個別受診勧奨対象者の拡充や行動変容を促す受診促進通知を行うとともに、大型商業施設での出張検診、休日検診日の拡充など受診しやすい環境整備を推進し、特定健診・がん検診を始めとする各種健康診査の受診率の向上に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生の最終段階の医療や介護について事前に話し合う「ACP会議（人生会議）」について、市民一人ひとりが意識できるよう記載してはどうか。</li> </ul>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個別受診勧奨対象者の拡充や行動変容を促す受診促進通知を行うとともに、大型商業施設での出張検診、休日検診日の拡充など受診しやすい環境整備を推進し、特定健診・がん検診を始めとする各種健康診査の受診率の向上に努めます。また、自らが望む健康や医療等について考え、自発的に健康づくりに取り組む市民を増やすため、健康に関する知識の普及と意識の啓発を行います。</li> </ul>
	行政が市民等に期待する役割	43	<p>（個人）市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「自分の健康は自分で守る」という自発的な健康づくりの意識に基づく、生活習慣病等の予防のための各種検診・健診の積極的な受診</li> </ul>	<p>「行政が市民等に期待する役割」についても、バイスタンダーの養成について記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>（個人）市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「自分の健康は自分で守る」という自発的な健康づくりの意識に基づく、生活習慣病等の予防のための各種検診・健診の積極的な受診</li> <li>●傷病者に対する応急手当、救急蘇生法を実施するための講習会等の受講</li> </ul>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策10】  人権を尊重し、多様性を認め合う社会づくり	課題	44	<p>&lt;課題①&gt; ●<u>平和意識は社会に浸透しつつありますが、依然として平和を脅かす事態が発生しており、平和の尊さへの認識を深め、戦争の悲惨さを次世代に引き継ぐことが課題となっています。</u></p>	<p>「誰かが何かをしているから平和である」と訴えた方が、理解が深まるため、具体的な内容を追記してほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題①&gt; ●<u>戦争体験者が減少し、悲惨な戦争の記憶が薄れつつある中、その記憶を風化させることなく恒久平和を次世代に引き継ぐことが課題となっています。</u> また、依然として平和を脅かす様々な事態が起こっているため、平和を希求する意識の高揚と人を慈しむ心の醸成を広げることも新たな課題となっています。</p>
		45	<p>&lt;課題②&gt; ●<u>人権尊重が市民の共通認識になりつつありますが、依然として様々な人権問題が発生しており、人権に対する理解を定着させることが課題となっています。</u></p>	<p>「様々な人権問題」について、市民がわかりやすいよう、SNS上の誹謗中傷・LGBTなど具体事例を記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題②&gt; ●<u>人権尊重が市民の共通認識になりつつありますが、依然として児童・高齢者・障害者等への虐待や女性への暴力等に加え、近年では、新たにSNS等を利用したインターネット上の誹謗・中傷や性的マイノリティなどの人権問題も発生しており、人権への更なる理解を定着させることが課題となっています。</u></p>
		46	<p>&lt;課題③&gt; ●<u>男女共同参画意識が浸透する一方、社会慣行等の固定的な性別役割分担意識が、女性の社会参画を妨げる要因となっており、その意識の解消が課題となっています。</u></p>	<p>第五次総合計画後期基本計画ではDV根絶等について記載しているが、戦略プランには記載されていない。女性の権利擁護の観点から記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題③&gt; ●<u>男女共同参画意識が浸透する一方、人々の意識や行動、社会慣行等による固定的な性別役割分担意識や性別に基づく様々な差別や偏見が、女性などの社会参画を妨げる大きな要因となっており、その意識や偏見などの解消が課題となっています。</u>  ●<u>DV（ドメスティック・バイオレンス）被害は、増加傾向にあるため、相談体制の充実が課題となっています。</u></p>
	47	<p>&lt;施策の展開③&gt; ●<u>性別役割分担意識の解消に向けた啓発事業や女性活躍推進に向けた取組により、誰もが性別や年齢などにかかわらず、その個性と能力が発揮できる環境づくりを推進します。</u></p>	<p>女性の権利擁護の観点から、DV根絶等について記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開③&gt; ●<u>性別役割分担意識の解消に向けた啓発事業や政策・方針決定過程における女性の参画などの活躍推進に向けた取組により、誰もが性別や年齢などにかかわらず、その個性と能力が十分に発揮できる環境づくりを推進します。</u>  ●<u>DVの根絶に向けた意識啓発を推進するとともに、関係機関等と緊密な連携・協力を図りながら、被害者保護などの支援を行います。</u></p>	
	施策の展開				

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策11】  誰もが安心して生活でき、共に支え合う地域づくり	課題	48	<p>&lt;課題③&gt; ●高齢化の進行により、<u>介護サービスや生活支援サービスを必要とする人が増加しています。</u></p>	<p>・高齢者のひとり暮らしの増加に関する記載をすべきではないか。</p> <p>・若年性認知症の方が若いために支援が受けられないということで地域で現実困っているケースがある。認知症のケアは年齢関係なく重要な問題であるという記述を追加してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題③&gt; ●<u>現在の高齢者数は68,768人(令和2年3月1日時点)となっており、今後、高齢化の進行により、高齢者のみの世帯や、一人暮らし高齢者が増えることから、生活支援サービスを必要とする人が増加しています。</u></p> <p>&lt;課題④&gt; ●<u>現在の要介護(要支援)認定者数は12,767人(令和2年3月末時点)となっており、今後、高齢化の進行により、認知症などの介護サービスを必要とする人が増えるとともに、在宅医療を始め、様々な支援を必要とする人が増加しています。</u></p>
	施策の展開	49	<p>&lt;施策の展開①&gt; ●<u>地域住民や民生委員・児童委員、ボランティアの活動を支援するなど、市民が主体的に地域生活における課題の解決を試みることができる地域福祉づくりを推進します。</u></p>	<p>・「民生委員・児童委員」に加えて「校区福祉委員」の文言を、地域福祉の中心を担う校区福祉委員に協力をお願いする意味も含めて記載すべきではないか。</p> <p>・「地域福祉づくり」は具体的にどういったことか。市民にとって分かりやすく記載したほうがよいのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt; ●<u>地域住民や民生委員・児童委員、校区福祉委員、ボランティアの活動を支援するなど、市民が互いに支え合い、主体的に地域生活における福祉課題の解決を試みることができる地域づくりを推進します。</u></p> <p>●<u>地域の様々な活動と専門職等とのネットワークづくりを支援し、包括的に相談を受け止める体制の整備を推進します。</u></p>
		50	<p>&lt;施策の展開②&gt; ●<u>生活困窮者及び生活保護受給者に対して、相談や就労など日常生活や社会生活における自立を支援するとともに、レセプトの分析及び疾病予防・重症化予防に取り組むなど、生活保護の適正化を推進します。</u></p>	<p>生活保護の適正化について、「不正受給」に関して記載すべきではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開②&gt; ●<u>生活困窮者及び生活保護受給者に対して、相談や就労など日常生活や社会生活における自立を支援するとともに、生活保護受給者のレセプトの分析による疾病予防・重症化予防対策や、不正受給対応、他法・他施策の活用に取り組むなど、生活保護の適正化を推進します。</u></p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策11】  誰もが安心して生活でき、共に支え合う地域づくり	施策の展開	51	<p>&lt;施策の展開③&gt; ●<u>介護予防・重度化防止や、在宅医療と介護の連携を推進するとともに、介護保険サービスを適切に提供することにより、シルバー世代の健康で安心な生活を支援します。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護保険サービスを適切に提供する」とあるが、介護保険外のサービスを充実させていくことで、まだ介護保険を使っていない予備軍の人が、介護保険を使わなくてもいいように導くといった施策などを記載してはどうか。</li> <li>・国全体として共通となっている「総合事業」、「包括ケアシステム」について記載すべきではないか。</li> <li>・「介護保険サービスを適切に提供」と記載しているが、ボランティアやNPO、事業者などの多様な主体による地域を支える仕組み作りが必要であるため、「地域共生社会に向けた多様な主体による支え合いをサポートする」旨を記載してはどうか。</li> </ul>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開③&gt; ●<u>地域支援事業等を実施し、介護予防・重度化防止や、生活支援サービスを提供することにより、生活機能の改善を図るとともに、住み慣れた地域での生活を支援します。</u></p> <p>&lt;施策の展開④&gt; ●<u>地域の拠点である地域包括支援センターを中心にネットワークを構築し、介護サービスだけでなく、多様な主体による様々な支援を包括的に提供します。</u></p>
	行政が市民等に期待する役割	52	<p>(個人) 市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉活動への参加</li> <li>●介護予防に関する取組への参加</li> <li>●障害を理由とする差別的な取扱いの防止や障害に応じた必要かつ適切な配慮</li> </ul> <p>事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一人ひとりのニーズに応じた生活や介護などを支援する質の高いサービスの提供</li> <li>●就労体験の場の提供など経済的自立を支援するための取組</li> <li>●障害のある人が安心して社会生活を送るための必要かつ適切な配慮</li> </ul>	<p>「適切な配慮」を「適切な配慮」としてはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>(個人) 市民</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域福祉活動への参加</li> <li>●介護予防に関する取組への参加</li> <li>●障害を理由とする差別的な取扱いの防止や障害に応じた必要かつ<u>適切な</u>配慮</li> </ul> <p>事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●一人ひとりのニーズに応じた生活や介護などを支援する質の高いサービスの提供</li> <li>●就労体験の場の提供など経済的自立を支援するための取組</li> <li>●障害のある人が安心して社会生活を送るための必要かつ<u>適切な</u>配慮</li> </ul>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策12】  衛生的で快適な生活の確保	ビジョン	53	<p>&lt;ビジョン③&gt; ●正しい衛生知識の普及や重点的な監視指導により、食中毒や犬によるこう傷等、生活衛生分野での健康被害の発生や問題等を防ぐことができます。</p>	<p>・「犬によるこう傷」の文言について説明を入れてはどうか。</p> <p>・「監視指導」の文言について説明を入れてはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン③&gt; ●正しい衛生知識の普及が進むとともに、飲食店等の生活衛生関連施設に重点的に監視指導（立入検査等）が行われていることにより、食中毒等生活衛生分野での健康被害の発生や問題等を防ぐことができます。また、動物の正しい飼い方等の普及啓発により、動物の不適切な飼い方による人への危害等を防ぐことができます。</p>
	施策の展開	54	<p>&lt;施策の展開①&gt; ●医療機関等に対して監視指導を実施し、適切な医療提供体制の確保を図ります。</p> <p>●各種マニュアルの整備、実地訓練、研修等を通して、健康危機事象発生時に迅速かつ適切に対応できる体制を整備するとともに、医療機関等の関係機関との連携を充実・強化します。</p>	<p>・「保健所設置市としての監視指導」など、中核市に移行したことの利点がわかるような記述としてはどうか。</p> <p>・「適切な医療体制の確保」について、一次～三次医療圏の連携等を踏まえて記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt; ●医療機関等に対して保健所設置市として監視指導を実施するとともに、大阪府と連携して二次医療圏域における地域医療構想を推進し、今後需要が見込まれる回復期病床や在宅医療等の医療機能を確保するなど、適切な医療提供体制の確保を図ります。</p> <p>●各種マニュアルの整備、実地訓練、研修等を通して、健康危機事象発生時に迅速かつ適切に対応できる体制を整備するとともに、医療機関等の関係機関との連携を充実・強化します。</p>
		55	<p>&lt;施策の展開④&gt; ●中長期的な視点に基づき計画的に事業を実施する中で、経常経費の抑制、技術職員の確保・育成及び効率的な管路・施設の維持・修繕等を推進します。</p>	<p>・水道料金・下水道使用料について、大阪広域水道事業団の統合など、これからどうしていくかということに記載してはどうか。</p> <p>・水道事業の水道管路の維持・管理などの記述があるが、工事や維持管理は「施策7」で記載し、本市施策では、水道水の安全性や水質の確保等について記述してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開④&gt; ●水質検査計画に基づき、毎日・定期・臨時の水質検査を適切に実施します。また、近隣市との水質検査の共同実施の充実など、効率的な実施体制の確保を図ります。</p> <p>●中長期的な視点に基づき計画的に事業を実施する中で、経常経費の抑制及び効率的な維持・修繕を推進します。また、大阪広域水道企業団との統合に向けた研究を始め、経営基盤の強化を目指した多様な広域化の取組を推進します。</p> <p>※ 記載内容の修正に伴い、施策指標について、「水道管路の耐震化率」から「水洗化率」に変更します。</p>
	行政が市民等に期待する役割	56	<p>（個人）市民 ●感染症の予防のため、各種予防接種を受け、手洗いなどを行うとともに、症状があるときは出勤や登校、不要不急の外出を控えるなどの集団感染の防止 ●貴重な資源である水に対する意識の向上、水源を汚さない<u>適正な排水</u></p> <p>事業者 ●積極的な衛生管理の徹底、感染症の症状を申告した従業員を出勤させない等の対応 ●貴重な資源である水に対する意識の向上、水源を汚さない<u>適正な排水</u></p>	<p>「適正な排水」とあるが、「適切な排水」とすべきではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>（個人）市民 ●感染症の予防のため、各種予防接種を受け、手洗いなどを行うとともに、症状があるときは出勤や登校、不要不急の外出を控えるなどの集団感染の防止 ●貴重な資源である水に対する意識の向上、水源を汚さない<u>適切な排水</u></p> <p>事業者 ●積極的な衛生管理の徹底、感染症の症状を申告した従業員を出勤させない等の対応 ●貴重な資源である水に対する意識の向上、水源を汚さない<u>適切な排水</u></p>



区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策13】  環境を守り、日頃の暮らしを良好に	施策の展開	57	<p>&lt;施策の展開①&gt;</p> <p>●ごみ処理には多額の経費を要しており、地球環境を守る上でも、ごみ減量は大切な取組であることを啓発等を通じて市民に理解していただき、市民と協働でごみ減量とリサイクルを推進します。</p>	<p>・ごみ減量への理解に関して、「事業者」を追記してはどうか。</p> <p>・市民と協働でごみ減量、リサイクルとあり、施策指標にもしているが、廃プラのリサイクルの検証を進めるといふことについてどう考えているか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>なお、廃プラのリサイクル方法についての検証は、北河内4市リサイクル施設組合における構成市の意向や国の動向等を踏まえて対応しており、ごみ減量とリサイクルの推進における施策の展開は、市民一人ひとりや事業者への啓発活動を主体としているため、当該意見に関しては原案のとおりとします。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt;</p> <p>●ごみ処理には多額の経費を要しており、地球環境を守る上でも、ごみ減量は大切な取組であることを啓発等を通じて市民・事業者に理解していただき、協働でごみの減量とリサイクルを推進します。</p>
		58	<p>&lt;施策の展開④&gt;</p> <p>「環境負荷の少ない“エコシティ”の推進」</p> <p>●地球環境問題に対する意識付けとなる施策の実施や工場等への規制監視を行い、より多くの市民に環境保全の大切さの理解を促し、市民・事業者と協働し、市域の住みよい環境を保全します。</p>	<p>・「エコシティ」は一般用語になりきっておらず、わかりにくい。脚注を入れるなどが必要ではないか。</p> <p>・「地球環境問題に関する意識付けとなる施策」とは、具体的にどういったことか。「啓発」としてはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開⑤&gt;</p> <p>「地球環境と調和したまちづくりの推進」</p> <p>●地球温暖化などの環境問題に対する取組を啓発することにより、市民・事業者の環境問題への意識を高め、気候変動への適応、環境負荷の低減を図ります。</p> <p>&lt;施策の展開⑥&gt;</p> <p>「公害防止対策の推進」</p> <p>●環境法令に基づく工場等への規制・指導や大気・水質・騒音等の常時監視を行い、市域の良好な環境を保全します。</p>
	59	<p>(個人) 市民</p> <p>●ごみ減量、分別排出を目指した、ごみの発生の抑制</p> <p>●地球温暖化対策の重要性についての理解と日常生活の中での節電、太陽光などの自然エネルギーの利用</p>	<p>高齢化が進むことから、「ごみ出しについての協力」という内容を入れてはどうか。</p>	<p>家庭からのごみ等をごみステーションへ出すことが困難な高齢者世帯等に対しては、戸別に訪問してごみを収集する「ふれあい訪問収集」において対応しているため、原案のとおりとします。</p>	

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策14】  学びによる 市民文化の 向上と発展	課題	60	<p>&lt;課題①&gt; ●少子高齢化の進行によるシルバー世代の増加や市民の価値観の変化などにより、生涯学習のニーズが多様化しており、学習メニューや学習環境の整備が課題となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を「長寿社会の到来で高齢者の社会参画がますます重要となる中、新たな生涯学習を通じた社会の構築が必要となっています」としてはどうか。</li> <li>・「市民の価値観の変化」は、「市民の価値観の多様化」としてはどうか。</li> <li>・地域人材の養成につながっていないことを課題として記載してはどうか。</li> </ul>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題①&gt; ●少子高齢化の進行によるシルバー世代の増加や社会経済情勢の変化に伴う、市民の価値観の多様化などにより、生涯学習のニーズが多様化するとともに、市民が生涯学習で得た学習成果を地域に還元できる仕組みづくりが課題となっています。</p>
		61	<p>&lt;課題②&gt; ●文化・芸術活動に携わる人の高齢化、後継者不足により、文化・芸術の継承が課題となっています。</p> <p>●少子高齢化等の社会状況の変化により、文化財の保存・活用、地域の伝統行事の継承が課題となっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後継者不足、継承問題と記載があるが、今までと変わらないのであれば、書く必要がないのではないか。</li> </ul>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題②&gt; ●文化・芸術活動に携わる人の高齢化、後継者不足が更に進行し、文化・芸術の継承が課題となっています。</p> <p>●少子高齢化等の社会状況の変化により、文化財の保存・活用、地域の伝統行事の継承がより一層課題となっています。</p>
		62	<p>&lt;課題④&gt; ●少子高齢化の進行によるシルバー世代の増加により、<u>図書館への来館が困難な人が増え、図書館を利用したくてもできない人が増加しています。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館への来館が困難な人が増え」とあるが、現状も同じ課題があり、図書館ニーズを捉えた記述としてはどうか。</li> <li>・図書館は来訪者のニーズに即した書籍を選んだり、様々な調べものをする空間利用とも考えられる。こういった面からの課題について検討が必要ではないか。場所を限定するような捉え方の記述のみとなっていることについて検討が必要ではないか。</li> </ul>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題④&gt; ●少子高齢化の進行や情報通信技術の高度化が急速に進む中で、各世代のニーズに応じた図書配架や、ICTを活用した新たな図書サービスへの対応が課題となっており、社会変化に対応した図書館機能の充実が求められています。</p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策14】  学びによる 市民文化の 向上と発展	施策の展開	63	<p>&lt;施策の展開①&gt; ●<u>市民の生涯学習や図書サービスの拠点となる施設について、利用者の利便性等を考慮しながら再構築を進め、公共施設等の有効活用によるニーズを捉えた環境を整え</u>るとともに、<u>市民が快適で安心して学習活動ができるよう、生涯学習に関する情報を提供し、学習・発表の機会を確保します。</u></p> <p>●<u>地域人材の養成等の活動支援を行い、学び合いを推進</u>します。</p>	<p>・生涯学習を通じて社会参画していくことが重要。高齢者に向けた生涯学習として、内容を厚くしてはどうか。例えば「生涯学習の成果を活かす高齢者支援コーディネータなどがボランティアや就労等を支援し、高齢者が社会参画できる環境が整っています。」としてはどうか。</p> <p>・地域の人材不足の課題があるため、生涯学習を通じて得た力を発揮したいと考えている人材を活用することを考えるべきではないか。</p> <p>・「利用者の利便性等を考慮」とあるが、利便性や箱(建物)などから考えるのではなく、教育施策としてどう位置付けるのか、充実・発展していくのかを考えるべきではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。 なお、課題・ビジョンと合わせるため、●二つを一つに統合します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt; ●<u>長寿社会を見据えたシルバー世代への学習機会の提供や現役世代の多様化するニーズへの対応など、あらゆる世代の誰もが快適に安心して学習活動ができるよう、生涯学習に関する情報提供と学習機会の充実に努めるとともに、生涯学習メニューの充実を図ります。また、地域における生涯学習講師の発掘など、人材の養成等の活動支援を行うとともに、公共施設の集約・複合化による公共施設の有効活用により、生涯学習施設の確保に向けた取組を推進します。</u></p>
		64	<p>&lt;施策の展開②&gt;二つ目の● ●<u>市民が文化財に触れることができる環境づくりを推進</u>するとともに、<u>地域の伝統行事の継承</u>を図ります。</p>	<p>「文化財に触れることができる」の説明を追記してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開②&gt;二つ目の● ●<u>埋蔵文化財資料館での展示や市指定文化財の公開等により、市民が文化財に触れることができる環境づくりを推進</u>するとともに、<u>地域の伝統行事の継承</u>を図ります。</p>
		65	<p>&lt;施策の展開③&gt;一つ目の● ●<u>市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加</u>できる環境を整えるとともに、<u>施設を計画的に改修し、スポーツ環境の整備・充実を促進</u>します。</p>	<p>「施設を計画的に改修」とはどの場所を指すのか説明を追記してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開③&gt;一つ目の● ●<u>市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加</u>できる環境を整えるとともに、<u>市民体育館等を計画的に改修し、スポーツ施設の整備とスポーツ環境の充実</u>を図ります。</p>
		66	<p>&lt;施策の展開④&gt; ●<u>子ども読書活動を始め、多様な市民の読書ニーズに対応</u>できる総合的な情報拠点として、<u>図書館機能の更なる充実</u>を図り、<u>効果的・効率的な運営</u>を行います。</p>	<p>図書館のニーズは、そこでどう活動したいか、どのような情報を取りたいかを取り上げるべきであり、外(建物)だけではなく中(ソフト)の部分について記載する必要があるのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開④&gt; ●<u>多様な市民の読書ニーズに対応</u>できる総合的な情報拠点として、<u>分野別の蔵書の充実</u>を図るとともに、<u>シルバー世代や障害者向けの拡大読書器や音声読書機の導入、並びにICT化への取組</u>など、<u>図書館機能の更なる充実</u>を図り、<u>効果的で効率的な図書館運営</u>を行います。</p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策15】  豊かな自然がある暮らし	課題	67	<p>&lt;課題①&gt; ●市街化の進展に伴い、緑地の割合が減少し、ヒートアイランド化が進むことにより、夏場の気温上昇や熱帯夜の増加などがこれまで以上に課題となっています。</p>	<p>「市街化の進展」と「市域面積に対する緑地の割合の増加」は相反するため、相当頑張らないとビジョンを達成できないのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題①&gt; ●市民にとって身近なみどりが不足することで、ヒートアイランド化が進むことによる夏場の気温上昇や熱帯夜の増加などがこれまで以上に課題となっています。</p>
		68	<p>&lt;課題③&gt; ●市民活動の担い手の不足により、市民協働による水辺環境の整備・保全が困難となるとともに、子どもたちが水と触れ合う機会の減少が課題となっています。</p>	<p>第五次総合計画期間でハード面の整備を進めているため、遂行している内容については書いた方が良いのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題③&gt; ●これまで市民との協働により、河川・水路の水辺環境の整備と保全を進めてきましたが、市民活動の担い手の不足等により、新たな水辺空間の創出や維持管理が困難となり、子どもたちが水と触れ合う機会の減少が課題となっています(水辺の整備・保全活動の参加者数：令和元年度4,792人)。</p>
	ビジョン	69	<p>&lt;ビジョン①&gt; ●市域面積に対する緑地の割合が増加することにより、ヒートアイランド対策にも効果を発揮し、緑あふれる住みやすいまちづくりが進んでいます。</p>	<p>「市街化の進展」と「市域面積に対する緑地の割合の増加」は相反するため、相当頑張らないとビジョンを達成できないのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン①&gt; ●市民にとって身近なみどりの保全や充実及び新たなみどりの創出が図られることにより、みどりあふれる住みやすいまちづくりが進んでいます。</p>
	施策の展開	70	<p>&lt;施策の展開①&gt; ●市民の緑化意識の高揚を図り、公園、公共施設や民有地の活用などの取組を幅広く展開することにより、市民参画や協働によるみどりあふれる花いっぱいのまちづくりを推進します。</p>	<p>ちびっこ広場の管理や今後の利用の在り方の明記が必要ではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt; ●市民の緑化意識の高揚を図り、都市公園・ちびっこ老人憩いの広場や、公共施設及び民有地の活用などの取組を幅広く展開することにより、市民参画や協働によるみどりあふれる都市空間の創出を推進します。</p>
71		<p>&lt;施策の展開②&gt; ●災害時に地域の人々が一時避難場所として利用できる機能や、家族で楽しめ、市外からもたくさんの方が訪れるような、地域特性を活かした特色ある公園づくりを推進します。</p>	<p>・市内の府営公園などとの連携に関して記述してはどうか。</p> <p>・イベントの実施などの記述を追記してはどうか。</p> <p>・Park-PFIなどの整備・管理運営に関して記述してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開②&gt; ●災害時に地域の人々が一時避難場所として利用できる機能など、地域のニーズに応じた特色のある公園づくりと併せて、大阪府等との連携も図りながら、他市からも訪れたいくなるようなイベントの開催や管理運営についても、多様な主体との協働等により、戦略的なマネジメントを推進します。</p>	

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策16】  地域づくり・きずなづくり	課題	72	<p>&lt;課題①&gt; ●<u>人口減少や少子高齢化の進行、単身・核家族世帯の増加など、地域を取り巻く環境が変化し、地域コミュニティの希薄化や担い手の減少・固定化・高齢化の進行が課題となっています。</u></p>	<p>・現役世代をどう地域人材としてつなげていくのかについて、課題に記載すべきではないか。</p> <p>・行政として、「地域の人材不足のバックアップ」を記載すべきではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。 なお、内容を整理し、具体的に記述するため、課題の記述内容を2分割します。</p> <p>&lt;課題①&gt; ●<u>各種団体における様々な活動が効率的・効果的に行われ、多様化する地域課題の解決が円滑に進められるよう、地域コミュニティ活動に対するきめ細かな支援が求められています。</u></p> <p>●<u>地域コミュニティの希薄化や担い手の減少・固定化・高齢化の進行により、現役世代のほか、定年後も生涯現役を希望する人々を、地域活動の担い手として確保する仕組みづくりが課題となっています。</u></p>
		73	<p>&lt;課題②&gt; ●<u>外国人労働者の在留資格の創設に伴う外国人の増加により、生活習慣の違いによる戸惑いや日本語が話せないなどの悩みを抱える外国人の増加が課題となっています。</u></p>	<p>外国人労働者の観点だけでなく、その外国人の家族・子どもに係る人権・教育等に係る行政機能についても、課題としてしっかり記載した方が良いのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題②&gt; ●<u>令和元年12月末時点の外国人登録人口が3,093人となっており、外国人労働者の新たな在留資格の創設に伴い、生活習慣の違いによる戸惑いや日本語が話せないなどの悩みを抱える外国人が増加するなど、その家族を含めた外国人に対する支援が課題となっています。</u></p>
	ビジョン	74	<p>&lt;ビジョン①&gt; ●<u>自治会・地域協働協議会との連携等により、効率的に地域活動が展開されており、多くの住民が地域活動に参画し、地域のことは地域で行うことができるコミュニティづくりが進んでいます。</u></p>	<p>「自治会・地域協働協議会との連携等」に「校区福祉委員会」等を追加してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。 なお、内容を整理し、具体的に記述するため、ビジョンの記述内容を2分割します。</p> <p>&lt;ビジョン①&gt; ●<u>自治会・地域協働協議会、民生委員児童委員協議会、校区福祉委員会との連携等により、効率的に地域活動が展開されており、地域のことは地域で行うことができるコミュニティづくりが進んでいます。</u></p> <p>●<u>新たな活動の担い手が確保され、多くの住民が地域活動に参画し、住み慣れた地域で支え合う環境が整っています。</u></p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策16】  地域づくり・きずなづくり	施策の展開	75	<p>&lt;施策の展開①&gt;  <b>●新たな地域活動の担い手づくりに向け、地域の意見を丁寧に聴きながら、各種団体の重複事業の整理等、市民負担の軽減に取り組み、地域コミュニティ活動を支援します。また、地域活動の場であるコミュニティ施設の更なる利活用の促進により、市民交流を通じた地域のきずなづくりを推進します。</b></p>	<p>・日本全国多くの自治体が、総務省がバックアップしている小規模多機能自治推進ネットワーク会議に参画しており、他自治体から情報収集等をしている。他自治体事例を、地域に示していくという働きかけを追記してはどうか。</p> <p>・地域で困っていることのケアをお願いしたい。</p> <p>・行政として、「地域の人材不足のバックアップ」を記載すべきではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。          なお、内容を整理し、具体的に記述するため、施策の展開の記述内容を2分割します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt;  <b>●地域の意見を丁寧に聴きながら、団体との連携を一層進めるとともに、地域活動の場であるコミュニティ施設の更なる利活用の促進、他自治体の活動事例の情報提供を行い、地域コミュニティ活動を支援します。</b></p> <p><b>●新たな地域活動の担い手づくりのため、人材の確保に向けたバックアップを行うとともに、各種団体の重複事業の整理等、活動を担う人々の負担の軽減に取り組みます。</b></p>
戦略プラン 【施策17】  市民ニーズを捉えた行政サービスの充実	全般	76	<p>&lt;課題①&gt;  <b>●行政機能の分散や各種申請、届出等の重複・複雑さが解消できていないことから、来庁者の負担が課題となっています。</b></p> <p>&lt;ビジョン①&gt;  <b>●市内駅周辺への市民サービスのターミナル化が進むとともに、市民ニーズに応じた行政手続のワンストップ化が機能することで、市民の手続等に係る“時間と距離の短縮”が実現しています。</b></p>	<p>課題、ビジョンの数と施策の展開の数の整合を図ってはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題①&gt;  <b>●公共施設の分散により、各種手続に市民が“場所の移動”をしなければならないことが課題となっています。</b></p> <p><b>●各種手続等に係る申請・届出の重複・複雑さが解消されておらず、来庁者の負担が課題となっています。</b></p> <p><b>●繁忙期等、時期により市民が多数来庁し、“待ち時間”が長くなっていることなどが課題となっています。</b></p> <p>&lt;ビジョン①&gt;  <b>●市内駅周辺への市民サービスのターミナル化が進むとともに、市民ニーズに応じた行政手続のワンストップ化が機能することで、市民の手続等に係る“時間と距離の短縮”が実現しています。</b></p> <p><b>●業務間における横断的な情報連携が図られ、各種手続等の簡略化が実現しています。</b></p> <p><b>●ICT化が進むとともに、来庁者数に応じた対応窓口の設置により、“待ち時間”が解消されています。</b></p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策17】  市民ニーズ を捉えた行政サービスの充実	全般	77	<p>&lt;課題③&gt; ●斎場の火葬炉設備の老朽化による修繕コストの増加や施設の安定稼働の確保が課題となっています。</p> <p>&lt;ビジョン③&gt; ●斎場の火葬炉の全面更新により、安定的な施設稼働を行うとともに、ランニングコストの抑制等が図られています。また、火葬時間の短縮や会葬者のプライバシーが確保され、会葬者が心穏やかに過ごせる環境が整備されています。</p> <p>&lt;施策の展開③&gt; 「斎場施設の適切な運営・管理」 ●斎場施設の円滑かつ持続的な施設運営を確保するため、順次、火葬炉設備の更新工事を計画的に実施するなど、適切な施設運営・管理を実施します。</p>	<p>施策の展開③「斎場施設の適切な運営・管理」の内容が、①②の内容に比べて具体的すぎるので、あえて記載する必要はないのではないか。</p>	<p>斎場施設については、老朽化の進行に伴う更新等を控える施設であるため、項目としては掲載すべき施設です。その上で、③の項目にシティ・ステーションに関する内容を追加し、施策の展開名を「市民が利用しやすい施設環境の整備」に修正します。</p> <p>&lt;課題③&gt; ●京阪本線連続立体交差事業などの理由により、市民が便利に利用できるシティ・ステーションの安定した施設運営に懸念があります。</p> <p>●市の斎場は、昭和61年の竣工後、相当年数が経過し、老朽化による火葬炉設備の維持が難しく、また、シルバー世代などには利用しにくい構造が課題となっています。</p> <p>&lt;ビジョン③&gt; ●市民サービスのターミナル化や施設の最適化が図られ、行政サービス拠点としての機能充実やバリアフリー化が図られています。</p> <p>●斎場の火葬炉の全面更新により、安定的な施設稼働と会葬者が利用しやすく、心穏やかに過ごせる環境が整備されています。</p> <p>&lt;施策の展開③&gt; 「市民が利用しやすい施設環境の整備」 ●各シティ・ステーションの円滑な運営と取扱業務の拡充を行うなど、更なるワンストップ化を図ります。</p> <p>●斎場施設の円滑かつ持続的な施設運営と誰もが利用しやすい施設となるよう、更新工事を計画的に実施します。</p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策17】  市民ニーズ を捉えた行政サービスの 充実	施策の展開	78	<p>&lt;施策の展開①&gt;  <u>●市民の多様な意見や要望などに対し、よりきめ細やかで丁寧なサポートを提供するために、市民相談業務の充実を図ります。</u></p> <p>●市民にわかりやすく、スピーディな対応ができるよう、様々な行政手続が1箇所に対応できる総合窓口の充実を図るなど、窓口の“ワンストップ化”を推進します。</p> <p>●予約サービスや証明書自動交付機などのICTを活用した行政手続の簡略化を進めるとともに、季節ごとに増減する来庁者数に応じた“可変型窓口”を充実するなど、市民を“お待たせしない”ための取組を推進します。</p> <p>●市内駅周辺に行政機能を集約する“市民サービスのターミナル化”を推進し、利用者の“時間と距離の短縮”を図ります。</p>	<p>施策の展開「相談業務の充実」とあるが、現に、市民のニーズをどのように把握をしているのか。相談業務について、箱の形ではなく、ソフトについて充実させるべきではないか。  時代の流れは合理化に重きが置かれていることもあり、内容を整理してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt;  ●市内駅周辺に行政機能を集約する“市民サービスのターミナル化”を推進し、利用者の“時間と距離の短縮”を図ります。</p> <p>●市民にわかりやすく、スピーディな対応ができるよう、様々な行政手続が1箇所に対応できる総合窓口の充実を図るなど、窓口の“ワンストップ化”を推進します。</p> <p>●予約サービスや証明書自動交付機などのICTを活用した行政手続の簡略化を進めるとともに、季節ごとに増減する来庁者数に応じた“可変型窓口”を充実するなど、市民を“お待たせしない”ための取組を推進します。</p>
		79	<p>&lt;施策の展開③&gt;  <u>●斎場の火葬炉設備の老朽化による修繕コストの増加や施設の安定稼働の確保が課題となっています。</u></p>	<p>斎場施設に係る一番の課題は、修繕コストの増加ではなく、高齢者・障害者が利用しにくいことである。そのことについて記載すべきではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  なお、施策の展開③に対する御意見を踏まえ、シティ・ステーションに関する課題を追加します。</p> <p>&lt;課題③&gt;  <u>●京阪本線連続立体交差事業などの理由により、市民が便利に利用できるシティ・ステーションの安定した施設運営に懸念があります。</u></p> <p>●市の斎場は、昭和61年の竣工後、相当年数が経過し、老朽化による火葬炉設備の維持が難しく、また、シルバー世代などには利用しにくい構造が課題となっています。</p>



区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策18】  戦略的な情報発信 (新施策名：市民ニーズの把握・情報発信力の強化)	全般	80	施策名「 <u>戦略的な情報発信</u> 」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策名の「戦略的」というのは誰に対してなのか。ターゲットは市民であると思うが、「戦略的」が何を意味するのか見えない。検討が必要ではないか。</li> <li>・施策名の「戦略的」というのは、誰に向けてのものか。「戦略」というのは「対象者」がないと成り立たない施策名なので、改めて検討すべきである。</li> </ul>	御意見を踏まえ、施策名を次のとおり修正します。  [市民ニーズの把握・情報発信力の強化]
	施策の展開	81	<p>&lt;施策の展開①&gt;</p> <p>●<u>世代ごとに効果的な調査手法や実施時期等を検討し、市民ニーズを迅速かつ的確に把握するとともに、情報の多角的な分析等を通じ、対外的訴求力の高い施策立案につなげます。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズの把握が非常に大きなテーマだが、調査手法の検討実施について、もっと多角的かつ最新の手法を使うという記述をすべきではないか。</li> <li>・情報を「受ける」側についても、しっかりと考える必要があるのではないか。</li> </ul>	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <施策の展開①> ● <u>最新の技術を用いた多角的な調査手法や実施時期等を検討し、市民ニーズを迅速かつ的確に把握するとともに、情報の多角的な分析等を通じ、対外的訴求力の高い施策立案につなげます。</u>  ● <u>市民からの陳情・要望、意見を適切に把握する仕組みを構築し、庁内横断的に情報共有を図ることで市民に寄り添った施策・事業の展開へとつなげます。</u>
		82	<p>&lt;施策の展開②&gt;</p> <p>●<u>情報ごとに異なる訴求効果を踏まえ、広報誌やSNS、マスメディアなどの有効な媒体を選択、複層化し、タイミングやビジュアルを意識したメディア戦略による情報発信を行うことで、市民に情報を適切に届けるとともに、市内外における市イメージの好循環を図ります。</u></p>	第五次総合計画ではSNSの双方向性について記述があった。そのような記述は残しておく方がよいのではないか。	御意見を踏まえ、次のとおり修正します。  <施策の展開③> ● <u>即時性や拡散性、双方向性など、媒体ごとに異なる特性を踏まえ、対象者に応じた媒体の活用、創意工夫のある質の高い情報発信により、市民に情報を効果的に届けます。</u>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申（案）
			内容		内容
戦略プラン 【施策19】  未来へつなぐ行財政運営	課題	83	<p>&lt;課題①&gt; ●<u>人口の年齢構成のバランスの悪化が進み、市税収入の減少や社会保障関連経費の増加等が市の経営を圧迫し、市民サービスの維持が困難となることが懸念されています。</u></p>	<p>「人口の年齢構成のリバランス」は基本構想の策定趣旨にも記載しているため、重複して記載しなくてもよいのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題①&gt; ●<u>人口減少と少子高齢化の進行により、市税収入の根幹である個人市民税を支える生産年齢人口が減少（令和元年：対前年1,586人減）する一方で、医療や介護等の社会保障関連経費が増加し、市財政を圧迫することから、市民サービスの維持が困難となることが懸念されています。</u></p>
		84	<p>&lt;課題②&gt; ●<u>少子化が進行する中、職員となる多様な人材の確保と育成が課題となっています。</u></p>	<p>「多様な人材の確保」の意味するところがわかりにくい。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;課題②&gt; ●<u>社会経済情勢に適合した「能力・実績を基本とした人事制度」及び「役職や勤務成績に応じた給与制度」とすることが困難となることが懸念されています。</u></p>
		85	<p>&lt;課題④&gt; ●<u>少子高齢化の進行に伴い、広域レベルでの行政課題への対応が必要となるものの、近隣市や民間事業者等との連携が進まず、課題への対応が懸念されています。</u></p>	<p>「近隣市や民間事業者等との連携が進まず」とあるが、これまでもやってきているのであれば、「～進んでいるものの」等と記載してはどうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。（前段部分は記述を充実するため、追記します。）</p> <p>&lt;課題④&gt; ●<u>他の自治体と横並びの施策が実施されることで、激しさを増す自治体間競争の中、本市の独自性や魅力の低下が懸念されています。また、近隣市や民間事業者等との連携を進めているものの、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、市民ニーズの複雑化・多様化等の様々な行政課題が顕在化し、広域レベルでの対応の一層の推進が課題となっています。</u></p>
ビジョン	ビジョン	86	<p>&lt;ビジョン①&gt; ●<u>人口の年齢構成のリバランスが進むことにより、市税収入等が安定的に確保されることで、更なる施策の推進が可能となるなど、市が継続的に発展し続けるための財政基盤が確保されています。</u></p>	<p>「人口の年齢構成のリバランス」は基本構想の策定趣旨にも記載しているため、重複して記載しなくてもよいのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン①&gt; ●<u>市民ニーズを的確に把握し、ニーズの本質を捉えた満足度の高い事業の実施により、まちの活力や魅力が向上し、子育て世代を中心に本市に住みたい・住み続けたいという心理的価値が醸成されることで、生産年齢人口の減少に歯止めがかかり、市税収入が確保されるとともに、財政基盤の強化が図られています。</u></p>
		87	<p>&lt;ビジョン②&gt; ●<u>人事・給与制度の改革が進み、多様な人材の確保と育成、職員の柔軟な働き方の推進、成果を挙げた職員に対する適正な処遇などの取組を進めています。</u></p>	<p>「多様な人材の確保」の意味するところがわかりにくい。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;ビジョン②&gt; ●<u>職員の働き方改革と人事・給与制度改革が進み、職員の柔軟な働き方の推進、多様な能力・スキル等をもつ人材の確保と育成、成果を挙げた職員に対する適正な処遇等の取組を進めています。</u></p>

区分	記載項目	No	試案	審議会意見	検討結果・中間答申(案)
			内容		内容
戦略プラン 【施策19】  未来へつな ぐ行財政運 営	施策の展開	88	<p>&lt;施策の展開①&gt; ●<u>人口の年齢構成のリバランスや税源涵養等、次代につなぐための取組に対して限られた予算をより有効に配分するとともに、徴収率(収納率)の更なる向上、後年度負担軽減に資する財政運営を推進することにより、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立・強化を図ります。</u></p>	<p>「人口の年齢構成のリバランス」は基本構想の策定趣旨にも記載しているため、重複して記載しなくてもよいのではないか。表現としては、まちづくりの取組が理解されて定住が増えるという方がよいのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開①&gt; ●<u>京阪沿線・JR学研都市線沿線の2つの鉄道軸のそれぞれの地域の強みを活かしたまちづくりを実施し、市民の定住を促進するとともに、子育て世代を中心とした新住民を誘引することで、市税収入の安定確保を図ります。また、限られた予算をより有効に配分するとともに、徴収率(収納率)の更なる向上、基金積立や市債発行抑制等による後年度負担軽減に資する財政運営を推進することにより、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立・強化を図ります。</u></p>
		89	<p>&lt;施策の展開②&gt; ●<u>職員の柔軟な働き方の定着を図るとともに、働き方改革並びに業務の見直しなどを不断に行い、職員数の適正化及び人事・給与制度改革を進めることで、多様な人材の確保と育成並びに簡素で効率的な行政システムの構築を図ります。</u></p>	<p>・「職員の柔軟な働き方の定着を図るとともに、働き方改革並びに業務の見直しなどを不断に行い、」は書きぶりを「働き方改革の一環において、職員の柔軟な働き方の定着を図る及び業務の見直しなど」としたほうがわかりやすい。</p> <p>・「多様な人材の確保」の意味するところがわかりにくい。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>&lt;施策の展開②&gt; ●<u>職員の働き方改革として、職員の柔軟な働き方を始め、望まない残業を無くす取組を推進するとともに、人事・給与制度の改革を進め、職員が能力を発揮し高い士気をもって、少数精鋭で効率的に職務を行う体制の構築を目指します。</u></p>
	行政が市民等に期待する役割	90	<p>(個人) 市民 ●<u>市政やまちづくりへの関心</u> ●<u>市税等の納期内の納付</u></p>	<p>施策指標として市税徴収率の高い目標を掲げているため、「納税意識が高い」「担税力がある」等、はっきり書いてもよいのではないか。</p>	<p>御意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>(個人) 市民 ●<u>市政やまちづくりへの関心</u> ●<u>市税等の納付意識の高揚と納期内納付</u></p>